

私のすすめるこの1冊

伊藤 崇達 (教育学科 准教授)

『ピア・ラーニング—学びあいの心理学—』

中谷素之・伊藤崇達 (編著)

私自身が編集に携わった著書を取り上げるのは、たいへん恐縮なことでありますが、是非おすすめしたい1冊ということで、ここにその概要を紹介させていただきます。

教育実践において子どもどうしの「学びあい」ということがよく語られますが、そもそも「学びあい」とは何なのでしょう。か？「学びあい」によって、どのような対人的なかわりが生起し、どのようにお互いを認識しあうようになり、どのように学びへの動機づけがなされていくのでしょうか。「学びあい」は、本当に深い理解や思考をもたらすものなのでしょうか。「学びあい」の実践のあるべき姿とはどのようなものなのでしょうか？

本書は、こうした「学びあい」にまつわる様々な問いに対して、最新の心理学の知見をもとに答えていこうとするものです。近年の欧米での教育心理学では、とりわけ、仲間どうしの「学びあい」のことを「ピア・ラーニング」と称し、実証的な検討が盛んに進められてきています。ご執筆いただいた先生方は、教育心理学、学習心理学、認知心理学、学校心理学、さらには特別支援教育、日本語教育という多岐に亘る学問領域の16名の専門家の方々ですが、心理学に関する諸理論、実証データ、そして、実践研究をもとにして示唆に富む議論を展開して下さっています。

本書の全体像をつかんでいただくために、以下に主な各章のタイトルをお示ししたいと思います。

- 1章 必要な援助を求める
- 2章 人と比べ合って学ぶ
- 3章 ピアとかかわる動機づけ
- 4章 何をめざして学ぶか
- 5章 ピアとともに自ら学ぶ
- 6章 「一人で読む」を超えて
- 7章 子どもはピアに援助をどう求めるか

- 8章 協同による問題解決過程
- 9章 ピアを介した概念変化のプロセス
- 10章 メタ認知におけるピアの役割
- 11章 協同による教育実践の創造
- 12章 日本語教育におけるピア・ラーニング
- 13章 発達に遅れや凹凸のある子どもの協同

第1部の1章から7章で扱われているテーマは、援助を求める心理、人と比べること、仲間とかかわる動機づけ、学びの目標、仲間とともに自ら学ぶ、仲間とともに読む、ピアサポートです。「学びあい」の心理を支えている諸側面について理論をふまえながら論じられています。第1部を読んでもらうことで、学び手の心理という視点から、ピア・ラーニングの実践を進めていくうえでのポイントやヒントが得られるはずです。

第2部、第3部にあたる8章から13章では、さらに具体的な学習課題、算数・数学、理科などの授業をテーマにして、「学びあい」の問題が扱われ、学校教育においてめざすべき実践、日本語教育や特別支援教育におけるピア・ラーニングというように幅広い教育文脈においてどのように研究が発展してきているかについて述べられています。これらの章を通じて、「学びあい」を支え、創り上げていく視点から、実践上の有益な手がかりが得られるはずです。

私はさておき、ご執筆いただいた先生方は、それぞれの専門領域の第一線の錚々たる研究者の方々です。紙幅の制約から、御名前は割愛させていただくことをご容赦下さい。本書は、専門の研究知見に基づく概説書になりますが、とても平易かつ明快に説明がなされており、「学びあい」に深い関心を寄せるみなさんには是非手に取っていただきたい1冊です。ご一読いただき、明日からの「学びあい」の実践に新しい視界が開けることを心より願っております。



わくわく kyo2 ライブラリー

読書キャンペーン終了しました！

2014年10月27日～11月9日の読書週間に合わせて始まった「わくわく kyo2 ライブラリー 読書キャンペーン」ですが、ついに2月28日で終了しました！

たくさんのご参加ありがとうございました！……と言いたかったところですが、実は参加してくれた人数は、全体の学生さんの数から見ると少なかったんです……(涙)！

読後コメントの提出はコメントA(50字以上)が131枚、コメントB(200字以上)が148枚、計279枚でしたが、人数としては62名でした。なんと全学生数の1割にも満たないという結果です。

ですが、10月から2月までの5ヶ月間の貸出冊数は前年度から約580冊増えましたし、館内の各所に設置した本の紹介コーナーなども、立ち止まる人、借りていく人が目立ちました。読後コメントも、面白く読ませてもらっています。参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました(^v^)

図書館では、今回のキャンペーンの成果を検証し、もっともっと皆さんに図書館を利用してもらえるよう工夫していきます。今後も図書館の取り組みに注目してもらえると嬉しいです！



賞品の引き替えはまだ間に合います！

賞品の引き替え期間は2015年3月25日(水)、卒業式までです。それぞれのポイントがたまるごとに賞品がもらえますので、今10ポイントまでたまっているのに一度も引き替えに来ていない人は、2ポイント、5ポイント、10ポイントの3つの賞品がゲットできるのです！せっかくがんばったんですから、ぜひ早めに賞品を受け取りに来てくださいね。

場所：事務室（カウンターでは引き替えません）

期間：2015年3月25日(水)まで
時間：平日（月～金）9:00～17:00

栄光はあなたの手に!? 館長賞は後日発表されます！

コメントB(200字以上)を提出した人の中から、特に優れたコメントを書いた人を2名選出し、

- ① 布製ブックカバー（A5版）＋ペンケース
- ② USBメモリ（8GB）のどちらかを贈呈します。

獲得ポイントにかかわらず、コメントBを提出した人には全員チャンスがあります。後日発表を待て！



図書館員のつぼやき(3) 「図書館にトラック？」

図書館にはトラックが停めてあります。といっても、軽トラや2tトラックのような車ではなく、本を乗せて運ぶ「ブックトラック」というものです。片面・両面・2段・3段など、大きさもさまざまです。主に職員が作業時に使っているので、現在は館内に見えるところにはあまり置いていませんが、返却された本を棚に戻すときなどに、トラックを華麗に運転する職員の姿を目撃することができます。



広報誌に掲載！

2015年3月発行予定の大学広報誌『KYOKYO』に、図書館の紹介記事が載ります。

学生さんの目線で図書館の使い方を紹介してくれますので、ぜひ手にとってご覧ください♪



図書館からのお知らせ

春季休業に伴う長期貸出について

院生・教職員は1月14日(水)～3月13日(金)、学部生は1月28日(水)～3月27日(金)の期間に借りた図書の返却期限日が、4月11日(土)になります。

※卒業・修了予定者は3月10日(火)まで
※非常勤講師・非常勤職員は3月31日(火)まで
※視聴覚資料を除く

非常勤講師・非常勤職員の方へ

今年度より、すべての非常勤講師・非常勤職員の利用証有効期限が3月31日(火)で一旦切れますのでご注意ください。次年度も本学に在籍される方は、更新手続きについて後日ご案内いたします。

新着図書 続々受け入れ中！

春休み・年度末・新学期を控えたこの季節、図書館では続々と新しい本を受け入れていきます。

カウンター横の新着図書コーナーに並んでいますので、ぜひ見に来てくださいね。おもしろそうな1冊に出会えるかも？



卒業・修了予定の方へ

1. 貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は2015年3月10日(火)までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことにより、2015年3月25日(水)まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

2. 卒業後も図書館を利用される場合

卒業生利用者としてご利用いただけます。卒業後の利用案内および利用証の申請書は卒業式(修了式)で配布し、当日から利用証を発行できますので、ご希望の方はお申込みください。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

※2015年3月末に卒業・修了しない方で、貸出中の図書の返却期限日が3月10日(火)になっている方は、2015年4月11日(土)に変更されます。図書館への申出は不要です。

企画展示室(北館 1F)について

これまで、本学名誉教授による写真展・同窓会写真展・研究生による展示・e-projectの写真展・サークルの写真展などなど、様々な方にご利用いただきました。これからも発表の場として、どんどん活用していきましょう！



※興味のある方は気軽に

図書館までお問合せください！
Tel (075) 644-8176
Mail tosomu@kyokyo-u.ac.jp

今月の
絵本カードは
こちら！

えほんのもり

今月の読み聞かせ会は、
3月16日(月) 15:00～です。
(場所：児童書コーナー)



★ちょうちょうひらひら
うさちゃんにとまった。
うさちゃんが ういっ。
シカさんにとまって…

『ちょうちょう ひらひら』

文：まどみちお 絵： にしまき かやこ

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。
このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

4月から、教育資料館 まなびの森ミュージアムのホームページに「今月の逸品」という新しいコーナーが出来ます。毎月1点ずつ所蔵資料を紹介いたしますので、どうぞお楽しみに！
http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori_copy.html

教育資料館 まなびの森ミュージアム

第3回
「京都・大学ミュージアム連携」スタンプラリー
京都の大学ミュージアムを回って知と美と素敵な景品を手にとろう！

【期間】開催中～2015年3月31日(火)迄
「京都・大学ミュージアム連携」加盟のミュージアムで
展覧会を見学し、スタンプを集めて応募しよう！大学ミュージアムグッズまたは各大学のグッズがもらえるよ。
※詳しくは京都・大学ミュージアム連携 HP にて
<http://univ-museum-kyoto.com/>



「小学生ののこぎり使用場面における自己効力とものづくり経験の関係」

原田信一・安東茂樹

京都教育大学紀要. 2014, No.125, pp. 77-87

中学校技術・家庭科技術分野(以下, 技術科)では, ものづくりなどの実践的・体験的な活動を通して学習が行われています。技術科の授業では, 体験的活動を通して製作品を完成させることが最終目標ではなく, ものづくりを通して生徒の技能を育てるとともに, 生徒の感性を育て, 技術的素養をもった人格を形成することを目的としています。そして, そのことが結果として, 個々の生徒の「生きる力」の育成につながり, さらにには生徒の人間形成にまで学習の効果が期待できます。

小学校におけるものづくりは, 図画工作科をはじめ, 生活科, 総合的な学習の時間, 理科, 社会科などの教科や行事, 学級活動などでも行われています。このことについて, 中学校学習指導要領解説技術・家庭編(2009)には「小学校における図画工作科などにおいて習得したものづくりに関する基礎的・基本的な知識及び技能を踏まえ, 中学校での学習の見通しをもたせるよう配慮する。」と示されており, 小学校との連携が重要になっています。

小学校におけるものづくり学習場面において, 児童の内面にある不安や戸惑いが, 積極的な行動を阻んでいることに気づかない場合もあり, のこぎりなどの工具を使用する際に「できる」という意識をもつ反面, 「できないのではないか」という意識をもつことが考えられます。

そこで, 小学生ののこぎりを使用する場面における自己効力測定尺度を作成し, それを活用して児童が中学校に入学するまでに, 小学校や家庭で技術科ものづくり学習に関連する内容について, どの程度経験しているかを調査しました。そして, ものづくり学習に関する経験が, 児童一人一人ののこぎり使用に対してどのように影響しているか, 関係性や背景などについて分析するとともに, 小学校におけるものづくりへの関心を高め, 積極的にのこぎり使用に取り組ませるためにどのように対応すればよいかを検討しています。

ものづくり教育に限らず, 児童の自己効力に関心がある方も, 論文をご一読いただければ幸いです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 125 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2015年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3/4 館内整理日
3/12 後期入試

2015年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4/9 前期授業開始

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

QRコード →



京教図書館 News No.174(2015年3月号)

発行日:平成27年3月2日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp



京都教育大学